

「解説」

## 九重火山の地形・地質，火山活動に関する文献目録

熊本大・教育 横山 勝三

本文献目録は，九州中北部に位置する九重火山の火山災害予測図（ハザードマップ）作成の基礎資料として，地形・地質，火山活動等に関する既存資料の収集・整理を行った結果をまとめたものである。

本目録作成に当たっては，学術雑誌，調査報告書，学術書，一般普及書などから，九重火山に直接関わりのある文献や比較的まとまった記述がある文献などを中心に選定し，著者名（アルファベット）順に収録した。収録文献の中には，原典を直接入手・参照出来ず，したがって十分な確認をせずに“孫引き”に基づいて収録したものも多い。また，収録から漏れている文献も少なくないと思われる。これらの不備な点については，今後さらに補充・整備していきたい。本目録が会員の皆様の研究に役立てば幸いである。

- 浅野 勝（1968）くじゅうの「黒ボク」土壌くじゅう総合学術調査報告書，大分大学教育学部，p.17-26.
- 千田 昇（1979）中部九州の新时期地殻変動—とくに第四紀火山岩分布地域における活断層について—。岩手大教育研究年報，39，p.97-135.
- ・猪原順二・吉田 進（1988）くじゅう地域の地形。「阿蘇くじゅう国立公園くじゅう地域学術調査報告書」，大分県，p.25-30.
- 福岡管区气象台（1990）九重山の基礎調査観測。九重山 九州地域火山機動観測実施報告（平成元年9月実施），第10号，17p.
- （1994）九重山の基礎調査観測。九重山・中之島 九州地域火山機動観測実施報告（平成5年7月～平成6年2月），第14

- 号，p.6-26.
- 豊肥地熱地域地質図編集グループ（1982）10万分の1豊肥地熱地域地質図，特殊地質図（21-1），地質調査所。
- 鎌田浩毅（1981）インブリケーションから推定される九重火山飯田火砕流の流動方向。火山，2集，26，p.281-292.
- Kamata, H. (1983) Flow direction inferred from imbrication in the Handa pyroclastic flow deposit in Japan. Bull. Volcanol., 46, p.277-282.
- 鎌田浩毅（1985）九州中北部における火山活動の推移と地質構造。地調報告，no. 264，p.33-64.
- （1986）九州中部地熱地帯における火山岩の噴出量と化学組成の時間的変化。昭和59-60年度サンシャイン計画研究開発成果中間報告書，国土地熱資源評価技術に関する研究，地質調査所，p.113-124.
- Kamata, H. (1989) Volcano and structural history of the Hoho volcanic zone, central Kyushu, Japan. Bull. Volcanol. 51, p.315-332.
- 鎌田浩毅（1991）テフラの<sup>14</sup>C年代により明らかにされた九重火山の噴火史。日本火山学会演旨，No.2，p.71.
- ・小林哲夫（1991）大分県九重火山の地質と層序。日本地質学会第98年大会演旨集，p.384.
- ・——（1992）九重火山の地質と完新世における噴火活動史。日本地質学会99年大会演旨集，p.415
- ・小玉一人（1993）火山構造的陥没地としての豊肥火山地域とその形成テクトニクス—西南日本弧・琉球弧会合部における

- フィリピン海プレートの斜め沈み込み開始が引き起こした3現象－. 地質学論集, 41, p.129-148.
- 鎌田清吉 (1968) 大岳地熱地帯の重力探査. 地熱, No.14 (2月特集号), p.1-7.
- 加藤数功 (1953) 硫黄山の煙. 九重風物誌, しんつくし山岳会, p.130-151.
- 木戸道男 (1991) 「九重－別府地溝」形成史と火山活動. 構造地質, 37, p.63-74.
- (1993) 「九重－別府地溝」北西縁部の地質構造形成史. 地質学論集, 41, p.107-127.
- 気象庁 (1991) 九重山. 日本活火山総覧 (第2版), p.329-333.
- 小林哲夫・池辺浩司 (1985) 九重火山東部の地質. 火山, 2集, 30, p.310.
- 国土地理院地殻調査部 (羽田野誠一) (1976) 九州中部地域の変動地形. 地震予知連絡会会報, 15, p.165-170.
- 駒澤正夫・鎌田浩毅 (1985) 豊肥地域の重力基盤構造. 地調報告, no.264, p.305-333.
- 久保寺章・三浪俊夫・里村幹夫・井上光吉 (1976) 中部九州地域における重力測定値の収集と精密重力異常図の作成. 自然災害資料解析, 3, p.45-53.
- ・住友則彦・土居 光・田島弘一・井筒屋貞勝 (1968) 九重火山地域での重力測定結果と九重カルデラ. 火山, 2集, 13, p.131-140.
- ・伊藤潔・村上寛史・三浪俊夫 (1982) 爆発地震動から求めた九重火山群の深部構造—Time-Term 法による—. 火山, 2集, 27, p.81-95.
- 熊本県企業局 (1969) 岳の湯地区地熱基礎調査報告書. 155p.
- 松本幡郎 (1972) 九重火山火砕流について. 火山, 2集, 19, p.111-119.
- 松本唯一 (1961) 九重火山の地質. 九重山, 中村英数学館発行, p.41-87.
- Matumoto, T. (1963) Caldera volcanoes and pyroclastic flows of Kyushu. Bull. Volcanol. Tome, 29, p.401-413.
- 松本唯一 (1966) 九重地域の地質. 阿蘇・九住の自然 (鈴木時夫編), 六月社刊, p.79-85.
- 松本達郎・野田光雄・宮久三千年 (1962) 九重火山. 日本地方地質誌 九州地方, 朝倉書店, p.188-191.
- 松本徭夫 (1953) 九重山群大船山の火山地質 (演旨). 地学雑, v.59, No.694, p.330.
- (1961) 九重火山の生い立ち. 九重山, しんつくし山岳会発行, p.17-30.
- (1963) 北中部九州における後期新生代の火山活動. 九大生産研報告, 34号, p.1-21.
- (1974) 九重火山形成史. 日本地質学会第81年大会講演要旨集, p.284.
- (1977) 九重火山 (その1) —九重における新第三紀の火山層序—, くじゅうの自然, no.5, p.1-13.
- (1978) 九重火山 (その2) —九重における第四紀の火山層序—, くじゅうの自然, no.6, p.16-30.
- (1979) 九重火山 (その3) —九重火山形成史—, くじゅうの自然, no.7, p.16-30.
- (1979) 本州弧・琉球弧会合部における火山活動. 地球科学, 33, p.192-199.
- (1980) 九重火山形成史. (演旨), 火山, 2集, 25-2, p.91-92.
- (1982) 九重火山群地質図および九重火山群地質断面図. 山口大学.
- (1983) 九重火山群の火山地質学的研究. 山口大学理学部地磁教室, 91p.
- (1984) 北・中部九州における新期新生代火山活動の特性—とくに地溝性陥没構造との関係—. 地質学論集, no.24, p.199-212.
- (1984) 九重火山群. アーバンクボタ, No.22, p.50-55.
- (1987) 北中部九州における後期新生

- 代の火山系列。地団研専報，第33号，p.235-249.
- (1987) 九重火山-群れをなすドーム、火山の一生，青木書店，p.59-82.
- (1992) 西南日本における後期新世代の火山系列と火山活動。松本徂夫教授記念論文集，p.1-37.
- (1992) 九重火山。日本の地質9九州地方，共立出版，p.210-212.
- (1993) 別府-島原地溝の発想とその後の発展および課題。地質学論集，41，p.175-192.
- ・西村 進・田島俊彦 (1977) 九州の新生代火成岩の fission-track 年代，長崎大学教養部紀要，自然科学，17，p.63-76.
- ・林 正雄・渡辺公一郎 (1985) 九重山。阿蘇火山と九重火山，日本地質学会第92年学術大会見学旅行案内書，p.148-162.
- ・——・山崎達雄 (1970) 九重火山飯田軽石流の "C" 年代。地球科学，24，p.190-191.
- Matsumoto, Y., Hayashi, M., and Yamasaki, T. (1981) Volcanic and geothermal activities of Kujyu volcano in central Kyushu. IAVCEI symposium Abstract, p.223-224.
- 松本徂夫・松本幡郎編 (1981) 「坊がつる讃歌」-九重火山群。阿蘇火山，東海大学出版会，p.138-144.
- ・坂田輝行・松尾孝一・林 正雄・山崎達雄 (1973) 大分県九重山北麓の火山地質。九大生産研報告，no.57，p.1-15.
- Matsumoto, Y. and Yamasaki, T. (1984) Volcanic stratigraphy and structure of geothermal areas in Kyushu. Research on Natural Energy, 8, p.465-472.
- 松下久道・小原浄之介 (1967) 九重火山地域の水理地質学的研究。九大理学部島原火山温泉研究所報告，(3)，p.1-9.
- 村岡洋文・鎌田浩毅・長谷紘和 (1980) 九重火山群北麓地域に見出された更新世の転倒褶曲とその意義。地調月報，31，p.599-608.
- 中村久由・安藤 武 (1954) 大分県大岳地熱地帯調査報告。地調月報，5，p.8.
- 納富重雄 (1920) 九重及び花牟礼両火山地質調査報文。震予報告，91，32p.
- 大森房吉 (1918) 九重山 (星生山) 噴出。日本噴火志 上編，震災予防調査会報告，第八十六号，p.203.
- 小野晃司 (1963) 5万分の1地質図幅「久住」および同説明書。地質調査所，106p.
- ・松本徂夫・宮久三千年・寺岡易司・神戸信和 (1977) 竹田地域の地質。地域地質研究報告 (5万分の1図幅)，地質調査所，145p.
- 太田岳洋 (1991) 九重火山群，東部及び中部域の形成史。岩鉱，86，p.243-263.
- 太田良平・松野久也・西村嘉四郎 (1968) 熊本県岳の湯および大分県大岳付近地質調査報告，地調月報，19，p.381-386.
- 佐藤伝蔵 (1910) 豊後九重山硫黄山。地学雑，22，p.333.
- (1913) 豊後九重山燧主火口の位置。地学雑，24，p.596.
- (1913) 豊後大船山の構造。地学雑，24，p.596.
- 田村昇市 (1967) 九重山周辺における火山灰土と類別・命名法。日本土壤肥料雑，38，p.443-448.
- 種子田定勝 (1957) 九重火北方の新 Pyroclastic flow について。火山，2集，1，p.70.
- Taneda and Kuno (1962) Kuzyu volcano group. Catalogue of the active volcanoes of the world including solfatara fields, Part XI, p.54-57.
- 辻 和毅・松本徂夫・林 正雄・温湯勝相 (1973) 九重火山西南麓の火砕流堆積物について (演旨)。岩鉱，68，p.87.
- 宇都浩三・須藤 茂 (1985) 豊肥地熱地域の火山岩の K-Ar 年代。地調報告，no.264，

p.67-83.

Watanabe, K., Hayashi, M. and Fujino, T.(1987) Fission track age of volcanoes in the Kuju Volcanic Region in relation to geothermal activity. J. Geotherm. Res. Soc. Japan. 9, p.207-217.

山崎達雄・松本健夫(1967)九重火山大岳地熱地帯および周辺の地質(第1報). 九大生産研報告, 44号, p.47-52.

——・——・林 正雄(1968)大岳地熱地帯の地質と熱水変質. 地熱, no.14, p.12-23.

Yamasaki, T. and Matsumoto, Y.(1967) Geologic outline of the Otake geothermal area and its surroundings. Mem. Fac. Engineering, Kyushu Univ. 27, p.11-16.

——・——・and Hayashi, M.(1970) The geology and hydrothermal alteration of Otake geothermal area. Kuju volcano group, Kyushu, Japan. Geothermics, Special Issue, 2, p.197-207.